

3 超音波診断装置保守業務仕様書

この仕様書は、超音波診断装置保守業務（以下「委託業務」という。）の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、委託者と受託者が協議して決定する。

1 保守対象期間 令和4年10月1日から令和9年3月31日まで

2 委託業務の対象機器

キヤノン 超音波診断装置（TUS-A500/JA） 一式

3 保守内容

（1）定期点検

受託者は、システムを良好な状態に保つため年1回専門技術員を派遣し、定期点検表に基づき点検及び調整を実施する。点検時期は、委託者と受託者の協議により決定する。

（2）オンコール保守

受託者は、システムの故障及び不具合等で委託者から連絡を受けた場合は速やかに対応する。

4 保守の範囲

次の各項にあげるものは、委託業務に含まないものとする。

- （1）天災地変等両者の責に帰することのできない原因により生じた修復作業
- （2）委託者の機器取り扱いの誤りに起因する修復作業。
- （3）対象機器のオーバーホール（システム変更）
- （4）機器仕様変更に伴う改造・組替又は移設に関する据付作業。
- （5）保守内容に含まれない項目の保守。

5 負担区分

- （1）保守業務に使用する電力、給水、給湯、ガス等は、委託者の負担とする。
- （2）オンコール保守の出張、作業料は受託者の負担とする。
- （3）定期点検及びオンコール保守に使用した交換部品は受託者の負担とする。
- （4）下記プローブ故障時の交換は受託者の負担とする。

PLT-1005BT/FS 2 式

PLT-1204BT 1 式

- （5）下記プローブ故障時の交換は委託者の負担とする。

PVT-375BT/FD 1 式

PLT-805AT 1 式

PLT-704AT 1 式

- （6）ゼリー、ペーパー、心電ケーブル等の消耗品は委託者の負担とする。